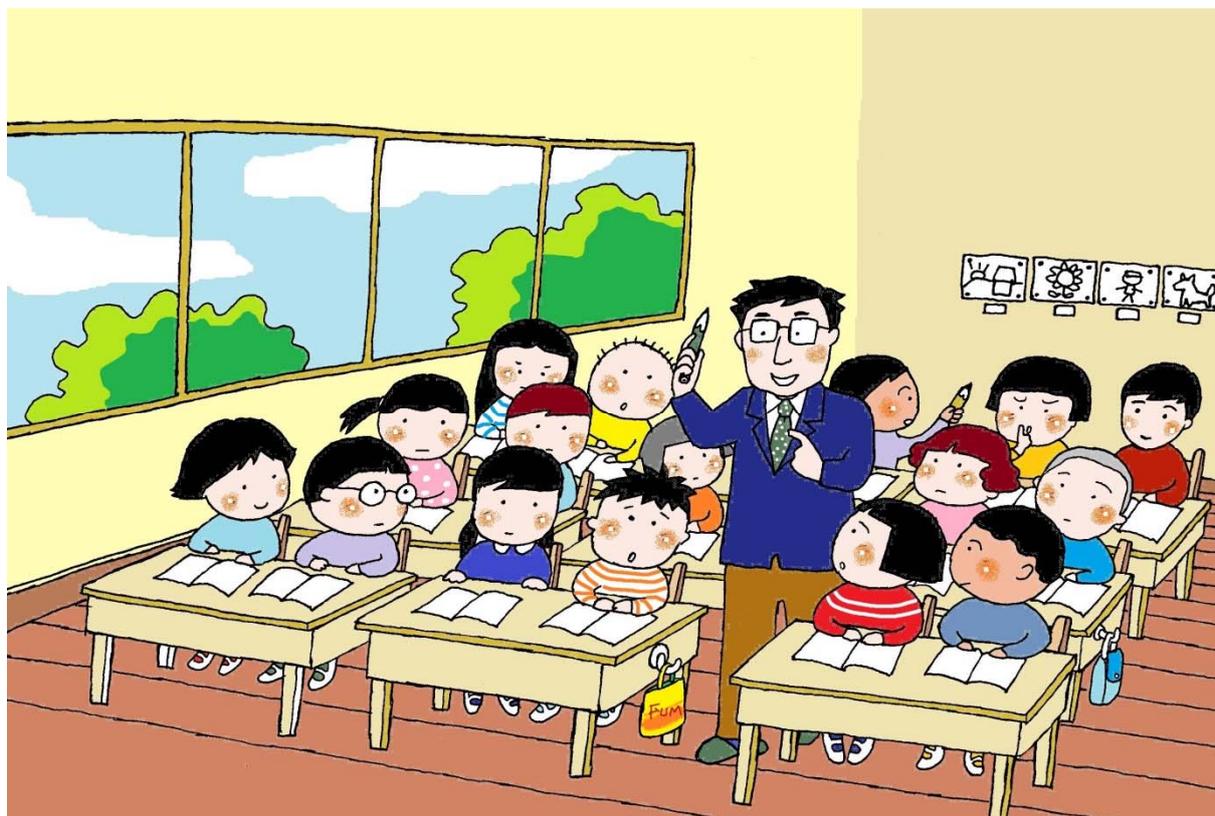


令和2年度 佐伯市教育行政重点施策



佐伯市教育委員会

令和2年度教育行政の基本方針と重点施策

佐伯市では、平成29年（2017年）3月に教育基本法第17条第2項の規定に基づき本市の教育振興のための基本計画として、「さいき“まなび”プラン2017」【第2期佐伯市長期総合教育計画】（2017年度～2026年度）を策定した。

この計画は、7つの分野で体系化され、それぞれの分野ごとに様々な施策を展開し、各種の事業を企画・予算化し実施している。これらの事業は、本市の教育の課題や市民のニーズを踏まえ、厳しい財政状況にあって、行政を「経営する」という新たな視点に立ち、限られた経営資源（ヒト、モノ、カネ）を最大限に活用し、最大の教育効果を目指すものである。

佐伯市教育委員会では、次代を担う子どもたちが「生きる力」を育み、心豊かに成長していくことを願い、学校、家庭、地域が連携・協力し、市民一人ひとりが「学び」、佐伯創生を担う人材の育成を目指して、次のように、総合的、計画的に諸施策を推進してまいります。

計画の目標

「人が学び、人が生き、人が育つ佐伯の教育」の創造

7つの柱と施策の体系

【基本目標Ⅰ】	「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進
施策1	確かな学力の育成
施策2	豊かな心の育成
施策3	健やかな体の育成
施策4	特別支援教育の充実
施策5	生徒指導の充実
施策6	幼児教育の充実
施策7	教育の国際化・情報化の推進
【基本目標Ⅱ】	信頼と協働による学校づくりの推進
施策1	豊かな教育環境の整備
施策2	教職員の意識改革と資質能力の向上
施策3	地域とともにある学校づくりの推進
施策4	安全・安心な学校づくりの推進
施策5	地域に根ざした豊かな学校給食の推進
【基本目標Ⅲ】	社会教育の充実と、子ども・若者の豊かな心の育成
施策1	学ぶ意欲を支える社会教育施設の整備と活用
施策2	情報化社会に対応し、力強く生きるための学習機会の提供
施策3	「地域協育」・「地域協働」の推進
施策4	子ども・若者に生きる喜びを伝える
【基本目標Ⅳ】	人権を尊重するまちづくりの推進
施策1	学校における人権教育の充実
施策2	地域における人権教育の推進
【基本目標Ⅴ】	市民文化の創造と文化財・伝統文化の保存・継承と活用
施策2	文化財・伝統文化の保存・継承と活用

【基本目標Ⅵ】	健康で心豊かな活気あふれるスポーツの振興
施策1	生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用
施策2	競技スポーツの向上と子どものスポーツ機会の充実

【基本目標Ⅶ】	市民に開かれた教育行政の推進
施策1	教育委員会及び事務局の機能充実

I 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

学校教育課

【施策】

- 施策1 確かな学力の育成
- 施策2 豊かな心の育成
- 施策3 健やかな体の育成
- 施策4 特別支援教育の充実
- 施策5 生徒指導の充実
- 施策6 幼児教育の充実
- 施策7 教育の国際化・情報化の推進

【令和2年度重点事業】

1 確かな学力の育成

- (1) 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学ぶ意欲」を育成する「わかる授業」の創造
 - ◎「付きたい力を意識した密度の濃い授業」実現に向けた授業改善
 - ・指導事項の定着までを意識した「新大分スタンダード」に基づく授業の質の向上。
 - ・単元及び1時間毎の具体的な評価規準の設定と、それに基づく個々の習熟の程度に応じたきめ細かな指導。
 - ・重点対策校（小：4校、中：3校）に対する継続的な指導。
 - 「ふるさと創生」を核とした総合的な学習の時間の充実
 - ・学校を核としたふるさと創生「構想図」に基づく各小・中学校の年間指導計画に基づく生活科・総合的な学習の時間の取組の継続。
 - ・学習成果発表の場としての「ふるさと創生祭」の実施と効果検証。
(11月14日：佐伯文化会館)
- (2) 家庭と協働した家庭学習の充実
 - 基礎基本の定着につながる家庭学習の改善
 - ・授業とのつながりを意識した意図的・計画的な家庭学習。

2 豊かな心の育成

- (1) 道徳教育の充実
 - ◎考え、議論する道徳の授業を要とした、道徳性を育成する道徳教育の推進
 - ・道徳教育推進教師を中心とした年間指導計画に基づく道徳性（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度）を育成する道徳教育の推進。
- (2) 豊かな体験活動の推進

<p>○実感を伴った、豊かな体験活動の推進・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を思いやることの大切さを実感できる福祉体験活動の推進。 ・生命の尊さを実感できる自然体験活動の推進。 <p>(3) 読書活動の推進</p> <p>○学校図書館を活用した授業の実践・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援員の配置による学校図書館の充実と授業での活用。 <p>(4) 勤労観・職業観の育成</p> <p>○児童生徒の発達段階に応じた勤労観・職業観の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や地元企業等と連携した職場体験学習や職場見学の充実。
<p>3 健やかな体の育成</p> <p>(1) 健康教育の推進</p> <p>◎フッ化物洗口の実施による歯と口腔の健康づくりの推進・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全幼稚園、小・中学校におけるフッ化物洗口の実施継続。 <p>(2) 望ましい食習慣の形成を図る食育の推進</p> <p>○栄養教諭等を活かした食育の充実と生活習慣の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校の「食に関する指導」の全体計画、年間指導計画に基づいた栄養教諭等の活用を含めた計画的な実践と生活習慣の改善に向けた取組の推進。 <p>(3) 学校体育の充実</p> <p>○「一校一実践」による運動の習慣化と体力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力運動能力調査や各小・中学校の課題分析に基づく「一校一実践」の工夫。
<p>4 特別支援教育の充実</p> <p>(1) 「佐伯市子ども特別支援ネットワーク」の充実</p> <p>○特別支援教育支援員（37名）の資質・能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職務内容や発達障がいのある児童生徒への支援の在り方、実践発表等、年間3回の研修をとおした資質・能力の向上。 <p>(2) 佐伯市就学支援委員会による適切な就学支援</p> <p>○児童生徒・保護者の願いを尊重した適切な就学支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な教育的支援を要する児童生徒及びその保護者への適切な就学情報の提供と、就学相談の実施。 <p>(3) 合理的配慮・ユニバーサルデザインの普及</p> <p>○「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成・活用による支援・指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の障がいや困りの状態に応じた計画的・継続的な支援と指導。 <p>○合理的配慮・ユニバーサルデザインに基づく環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学習・生活環境整備の充実。
<p>5 生徒指導の充実</p> <p>(1) 自己指導能力の育成</p>

- 生徒指導の3機能の視点を生かした授業づくり・学級集団づくりの定着
 - ・生徒指導の3機能（自己決定の場、自己存在感を与える場、共感的人間関係を育む場の設定）を意識した各教科、特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の改善。
- (2) 不登校児童生徒への対応
 - 適切な初期対応や復帰支援の推進
 - ・「あったか・ハート（未然防止）」「ほっと・ハート（早期発見）」「にっこり・ハート（解決支援）」の取組推進。
 - ・各種機関と連携したケース会議等の開催により個に応じた支援・指導の充実。
- (3) いじめ解消に向けた取組の推進
 - 「いじめは絶対に許されない」という意識の醸成
 - ・スクールロイヤーの活用による法的側面からのいじめ予防に関連する授業や教職員研修、学校からの法的相談等の取組の推進。
 - 子どものために大人がつながる「さいきドリーム・プロジェクト」会議による取組の拡大
 - ・地域の大人から児童生徒へのメッセージや「9 to 7ルール」の取組の充実。
- (4) 教育支援センターの機能充実
 - ◎いじめ対策・不登校支援・貧困対策における関係機関と連携した相談機能の充実
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの各小・中学校配置と相談支援体制の充実。
 - ・教育支援センター教室「グリーンプラザ」からの積極的な情報発信による周知と連携強化。

6 幼児教育の充実

- (1) 幼稚園教育の充実
 - ◎幼稚園教育要領の確実な実施
 - ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた教育課程の編成と実施及び適切な評価・改善。
 - 「アプローチカリキュラム」「個別の指導計画」の作成と活用による幼小接続の推進
 - ・入学までに付けたい力を見据えた「アプローチカリキュラム」の作成・活用と支援を要する子どもの困りや障がいの状態に応じた「個別の指導計画」の作成による計画・系統的な指導。
- (2) 幼稚園と保育所・認定こども園及び小学校との連携の推進
 - 小学校・保育所・認定こども園等との交流の充実
 - ・子どもの育ちをつなぐための、保育所・認定こども園等との情報共有の推進。
 - 幼稚園一時預かり事業の充実

- ・教育時間終了後の保育ニーズに対応した預かり保育の推進。
(渡町台幼稚園・鶴岡幼稚園・よのうづ幼稚園において実施)

7 教育の国際化・情報化の推進

(1) 外国語教育の充実

◎コミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力の育成をめざす小・中学校外国語教育の充実

- ・小学校中学年においては外国語に慣れ親しむことから始まり、小学校高学年、中学校においては外国語の4技能（聞く・話す・読む・書く）をバランスよく身に付けるための授業の充実・改善。
- ・外国語能力の向上に取り組む中高生を支援する英語検定受検料の補助。
(希望する中高生に対して年1回)

(2) 国際理解教育の充実

○ALTの積極的な活用

- ・ALTの学校配置及び増員（5名）による派遣事業の充実。
- ・中学生のグローバルな考え方の育成を図る国際交流活動の実施。

(3) 情報教育の充実

○ICT機器を効果的に活用した授業実践と遠隔授業の推進

- ・教職員のICT機器活用能力の向上と授業における活用。
- ・遠隔教育システムによる授業についての実践と検証。

○家庭と協働した情報モラル教育の推進

- ・学校における児童生徒及び保護者を対象とした情報モラル教育の充実。

【主な予算】

施策1 確かな学力の育成

◆主要事業	予算額
○佐伯市学力向上実践研究事業	13,062 千円
○学校図書館活用推進事業 (教育総務費人事管理費・学校図書支援員)	20,131 千円
○学校を核としたふるさと創生事業	3,377 千円
○さいきふるさと創生祭実施事業	2,774 千円

施策2 豊かな心の育成

◆主要事業	予算額
○学校図書館活用推進事業（再掲）	20,131 千円

施策3 健やかな体の育成

◆主要事業	予算額
○子どもの歯の健康づくり推進事業	4,913 千円

施策4 特別支援教育の充実

◆主要事業	予算額
○子ども特別支援ネットワーク整備事業	557 千円
(教育総務費人事管理費・特別支援教育支援員)	68,838 千円

施策5 生徒指導の充実

◆主要事業	予算額
○スクール・メンタルケア推進・充実事業	10,848 千円
○学校問題解決支援事業	101 千円

施策7 教育の国際化・情報化の推進

◆主要事業	予算額
○外国語指導助手派遣事業 (教育総務費人事管理費・外国語指導助手)	18,943 千円
○中学生・高校生英語検定受検促進事業(新規)	5,424 千円
○グローバル人材育成事業	5,310 千円
○学校 ICT 環境整備促進実証研究事業	3,482 千円

Ⅱ 信頼と協働による学校づくりの推進

学校教育課・教育総務課・体育保健課

【施策】

- 施策1 豊かな教育環境の整備
- 施策2 教職員の意識改革と資質能力の向上
- 施策3 地域とともにある学校づくりの推進
- 施策4 安全・安心な学校づくりの推進
- 施策5 地域に根ざした豊かな学校給食の推進

【令和2年度重点事業】

1 豊かな教育環境の整備

(1) 特色ある学校づくりの推進

○地域の実情に応じた特色ある学校づくり

- ・授業における地域の「ひと・もの・こと」の積極的な活用と工夫。

(2) 小中一貫教育の推進

○小中一貫、小中連携の充実による指導の系統性・連続性の保障

- ・小中教職員の連携による9年間を見通した一貫した学習指導・生徒指導の充実。
- ・総合的な学習の時間など小・中9年間を見通した年間指導計画の作成・実践。

(3) 教育活動に専念できる教育環境づくりの推進

◎教職員「働き方改革」の取組の推進・充実

- ・学校現場における適正な勤務時間の管理と教職員の意識改革の推進。
- ・業務改善の見直しの推進と専門スタッフ等の配置促進。

2 教職員の意識改革と資質能力の向上

(1) 「芯の通った学校組織」の構築

◎「芯の通った学校組織」推進プラン第3ステージに基づく取組の推進・充実

- ・学校課題の重点化と目標達成に向けた具体的なイメージの教職員の共有。

○ミドル・アップダウン・マネジメントの実働

- ・学校の各重点目標の達成を担う主任等の役割の明確化。

○「チーム学校」の視点に立った効果的な学校運営の推進

- ・教職員とスクールカウンセラー等の専門性を持つスタッフが互いに専門性を発揮できる体制整備。

(2) 教職員評価システムの円滑な実施

○学校の教育目標と連動した教職員の目標設定と実践

- ・学校の重点目標と自己目標の連動。

<p>(3) 教職員研修の充実</p> <p>○教職員ライフステージ研修の内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージの教育課題に対応した研修内容の精選・充実。
<p>3 地域とともにある学校づくりの推進</p>
<p>(1) 家庭・地域との協働による目標達成</p> <p>◎目標協働達成に向けた学校運営協議会の取組内容の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を全中学校区において実施。 <p>(2) 学校評価システムの充実</p> <p>○学校評価を生かした教育活動の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点目標に基づく評価項目の設定と短期 PDCA サイクルによる進行管理。 <p>(3) 学校公開等の推進</p> <p>○学校ホームページの随時更新によるマスコミを活用した積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校における月 1 回以上のホームページの更新による情報発信。 <p>(4) 地域の教育力活用の推進</p> <p>○地域の「ひと・もの・こと」の活用による教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の教育活動全体を通じた地域の「ひと・もの・こと」の計画的活用。
<p>4 安全・安心な学校づくりの推進</p>
<p>(1) 安全教育の充実</p> <p>◎自ら考え行動し、自他の命を守る実践的な防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波・大雨等を想定した学校防災計画の見直しと実践的な防災教育の推進。 <p>○学校防災計画及び危機管理マニュアルの継続的な見直しと地域と連携した防災訓練の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育、防災管理に関する計画の策定と実施及び見直し。 ・地域の防災士会等と連携した防災教育の推進。 <p>(2) 安全・安心な学校施設の整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいき学校給食センターの稼働開始に合わせ、旧市内 3 校の搬入口、配膳室の整備及び旧調理場の解体。 ・全幼、小・中学校施設の長寿命化実施計画の策定。 ・廃校等により未使用となっている学校施設の解体事業推進。 ・トイレの洋式化推進。 <p>(3) 通学時の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路安全対策会議の開催や現地合同点検の実施。 ・青色パトロールの定期的な巡回を実施し、登下校時の見守り活動を推進。
<p>5 地域に根ざした豊かな学校給食の推進</p>

(1) 安全・安心な学校給食の推進

- ・食中毒予防や異物混入対策、「学校給食衛生管理基準」に適合した調理場の施設設備の改善による衛生管理の徹底。
- ・給食調理・配送等業務従事者に対して、年1回の定期健康診断や月2回以上の検便検査、安全衛生管理等の研修を定期的実施することによる、健康及び衛生管理の徹底。
- ・学校や保護者と連携を密にし、「安全性」を最優先に、食物アレルギー事故防止の徹底。
- ・さいき学校給食センターの外構工事、備品購入、厨房機器試運転等、2学期から安全に稼働するための準備。

(2) 食育の推進

- ・栄養バランスのとれた豊かな食事の提供。
- ・「生きた教材」として学校給食を提供することによる食育の充実。
- ・学校給食に積極的に佐伯産食材を活用し、地域の郷土食を提供することによる地産地消の推進。

(3) 効率的な学校給食の運営

- ・学校給食費未納分の臨戸訪問を計画的に実施及び児童手当申出徴収の活用による収納率向上。
- ・施設設備の老朽化した給食センターの効率的な統合。
- ・学校給食費の公会計化に向けた準備。

【主な予算】

施策1 豊かな教育環境の整備

◆主要事業	予算額
○教員業務サポートスタッフ活用事業	5,530 千円
○中学校部活動指導員活用事業 教育総務課人事管理費	千円

施策2 教職員の意識改革と資質能力の向上

◆主要事業	予算額
○教職員研修充実事業 (教育総務課人事管理費・研修指導員)	1,951 千円

施策4 安全・安心な学校づくりの推進

◆主要事業	予算額
○幼・小・中学校施設維持管理事業	

(八幡幼稚園園舎鉄骨改修工事)	1,155 千円
(青山小学校グラウンド擁壁復旧修繕)	1,700 千円
(鶴見中法面調査業務委託)	2,304 千円
(彦陽中学校防球ネット撤去工事)	2,781 千円
○幼・小・中学校施設整備事業	
(上堅田幼稚園屋根改修工事)	10,480 千円
(木立幼稚園エアコン設置工事)	5,500 千円
(明治小学校屋内運動場照明設備取替工事)	9,670 千円
(東、渡町、佐伯小学校給食配膳室新築工事ほか)	102,009 千円
(佐伯小学校トイレ改修工事)	47,670 千円
(蒲江翔南中学校渡り廊下改修工事設計業務)	800 千円

施策5 地域に根ざした豊かな学校給食の推進

◆主要事業	予算額
○学校給食一般管理事業	
(I R C 式衛生保守管理業務委託料)	5,637 千円
(給食調理・配送等業務委託料)	299,530 千円
(食物アレルギー対応に係る文書料補助金)	240 千円
○佐伯学校給食センター(仮称)建設事業	
(さいき学校給食センター外構工事)	36,916 千円
(さいき学校給食センター備品購入)	33,150 千円
○地場産品活用推進事業	306 千円

※ I R C 式衛生保守管理とは、毎日調理作業終了後の夜間に、食品を取り扱う環境用の医薬品殺菌剤を厨房に自動噴霧することにより、食中毒原因菌の増殖を防ぐもの。

Ⅲ 社会教育の充実と、子ども・若者の豊かな心の育成

社会教育課

【施策】

- 施策1 学ぶ意欲を支える社会教育施設の整備と活用
- 施策2 情報化社会に対応し、力強く生きるための学習機会の提供
- 施策3 「地域協育」・「地域協働」の推進
- 施策4 子ども・若者に生きる喜びを伝える

【令和2年度重点事業】

1 学ぶ意欲を支える社会教育施設の整備と活用
(1) 老朽化した施設の建替え及び長寿命化 <ul style="list-style-type: none">・老朽化した青山地区公民館の建替え、直川・蒲江地区公民館の防水改修工事によるコミュニティ拠点施設の長寿命化の推進。・公民館分館の地区譲渡を進めるため、施設の改修を条件に受入の意向のある鶴見地区の有明分館や丹賀分館の条件整備。・老朽化して利用実績が少ない最勝海宿泊研修施設・蒲江青少年海の家用途変更や廃止、鶴見・米水津にある陶芸工房館の統廃合を検討。
2 情報化社会に対応し、力強く生きるための学習機会の提供
(1) 地域をリードする公民館づくり <ul style="list-style-type: none">・公民館を拠点とした地域づくり活動として多世代が「つどい、まなび、つながる」コミュニティ活性化事業、女性学級の推進。 (2) 学びの支援と社会への発展 <ul style="list-style-type: none">・市民が自主的、自発的に学ぶサークルの育成や、学びの成果を発表する機会提供。
3 「地域協育」・「地域協働」の推進
(1) 家庭教育の推進 <ul style="list-style-type: none">・就学前の保護者を対象に、参加型ワークショップとして、「佐伯市子パンダプログラム」を市内全域の中学校区での実施。・佐伯市家庭教育講師団「佐伯市子パンダ支援チーム」の充実を図るとともに、関係機関と連携したアウトリーチ型の取組みによる家庭教育講座の普及促進。 (2) 「協育」ネットワークの充実 <ul style="list-style-type: none">・子どもの見守り活動や育成活動等の地域から学校への支援活動を継続的に行うとともに、中学校区に配置した地域学校協働活動推進員を「協育」ネットワークと学校運営協議会をつなぐ推進役として、学校と地域の双方向の協働活動の取組みの推進。
4 子ども・若者に生きる喜びを伝える

(1) 豊かな体験活動を推進

- ・恵まれた自然環境や豊富な人材を活用した「青少年交流体験事業」を推進し、たくましく生きる力や仲間とのコミュニケーション能力の育成。また、小学生チャレンジ教室を開催し、子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供。

(2) こどもの読書活動の推進

- ・子どもたちの人格形成を助け、生きる力を養う優れた手段として、子どもたちの読書活動を推進。市立図書館、学校図書館、公民館図書室が連携し、読み聞かせ連絡協議会等の市民ボランティアと協力して、読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトル等の各種読書活動の推進及び市民ボランティアや子ども司書の育成。

(3) 佐伯っ子科学技術力育成事業

- ・佐伯市の地場産業に密接に関連する海洋生物化学の分野に造詣が深い講師を招き、講演会等を通じて佐伯市の豊かな資源の再認識と将来を担う児童や生徒に科学への興味関心の醸成。

【主な予算】

施策1 学ぶ意欲を支える社会教育施設の整備と活用

◆主要事業	予算額
○青山地区公民館建設事業	48,048 千円
○公民館長寿命化事業	3,260 千円
○図書館改修事業	1,600 千円

施策2 情報化社会に対応し、力強く生きるための学習機会の提供

◆主要事業	予算額
○生涯学習の推進及び公民館活性化事業	12,643 千円

施策3 「地域協育」・「地域協働」の推進

◆主要事業	予算額
学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業	
○家庭教育支援活動	731 千円
○地域学校協働活動	14,510 千円

施策4 子ども・若者に生きる喜びを伝える

◆主要事業	予算額
○小学生チャレンジ教室	8,131 千円

○佐伯っ子科学技術力育成事業

1,641 千円

IV 人権を尊重するまちづくりの推進

学校教育課・社会教育課

【施策】

施策1 学校における人権教育の充実

施策2 地域における人権教育の推進

【令和2年度重点事業】

1 学校における人権教育の充実

(1) 児童生徒の人権に対する知識・感性・意欲・態度・技能の育成

○人権教育の日常化に向けた実践

・全体構想と年間指導計画に基づく、教育活動全体を通じた人権教育の実践。

○「部落差別の解消の推進に関する法律」（以下「法」という。）を踏まえた、部落差別の解消を核とした人権教育の推進

・法及び「部落差別解消の推進に関する学校教育指導方針」（佐伯市教育委員会）の周知とこれを踏まえた具体的な取組と検証。

○人権問題8つの課題に関する教材を生かした授業づくり

・〔第三次とりまとめ〕の趣旨を生かした授業の推進。

・人権教育の視点を位置付けた体験的参加型授業の構築。

○支え合い、認め合う仲間づくりの推進

・児童生徒間の信頼関係を構築する学習環境づくり。

・一人一人が自己有用感を高める活動の充実。

2 地域における人権教育の推進

(1) 各種学級での人権研修の充実

・高齢者教室、家庭教育講座、公民館活動等で人権啓発に関する講座、研修会の実施。

(2) 部落差別等の解消に向けた職員研修の強化

・特定職業従事者として人権啓発を担う市職員に対し、人権学習講座やフィールドワークなどの部落差別等の解消に向けた研修の実施。

(3) 学校とPTAが共催して実施する人権研修の支援

(4) 読書活動による児童・生徒の人権意識の啓発

・児童・生徒が読書を通じて、適正な判断力や人権感覚を養うことを目指し、ブックトーク等の読書活動を推進。

【主な予算】

施策2 地域における人権教育の推進

◆主要事業	予算額
○人権教育推進事業	320 千円

V 市民文化の創造と文化財・伝統文化の保存・継承と活用

社会教育課

【施策】

施策2 文化財・伝統文化の保存・継承と活用

【令和2年度重点事業】

2 文化財・伝統文化の保存・継承と活用

(1) 文化財の保存・継承

- ・文化財・伝統文化を守り伝えるため、保存継承を担う団体等への支援。
- ・佐伯城跡の調査を継続するとともに国指定史跡への指定の実現に向けた取組の促進。
- ・市内に所在する文化財の調査を進め、所有者の意向や保存・活用の体制なども考慮しながら市指定文化財への指定に向けた取組の実施。

(2) 文化財・伝統文化への理解を深め、活用を推進

- ・地域の歴史文化を学ぶ講演会や各種講座、子どもを対象とした体験学習教室などの開催による文化財・伝統文化に対する市民への普及、啓発。
- ・文化財・伝統文化の情報を発信し、観光やまちづくり等に活用。

(3) 歴史文化施設の活用の推進

- ・歴史文化施設の活用を図るため、資料の収集・調査研究の推進、企画展・特別展の開催及び講座等の充実。
- ・市民との協働による運営を推進するため、市民サポーターを育成。

(4) 市史編さん事業

- ・合併20周年記念事業として市史編さんの取組を進めるため、編集委員会・専門部会等による資料の調査・執筆。

【主な予算】

施策2 文化財・伝統文化の保存・継承と活用

◆主要事業	予算額
○文化財保護対策事業	3,239千円
○遺跡群発掘調査事業	6,097千円
○歴史資料館管理事業	18,264千円
○歴史資料館運営事業	7,862千円
○佐伯文化会館管理事業	25,279千円
○汲心亭管理事業	4,205千円

○佐伯文化会館解体事業	10,040 千円
○平和祈念館管理事業	6,789 千円
○国木田独歩館管理事業	1,997 千円
○市史編さん事業	5,890 千円

VI 健康で心豊かな活気あふれるスポーツの振興

体育保健課

【施策】

施策1 生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用

施策2 競技スポーツの向上と子どものスポーツ機会の充実

【令和2年度重点事業】

1 生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用

(1) 市民が気軽に参加できる環境づくりの取組や各種スポーツ大会、教室等の開催

①SAIKI スポーツフェスティバルの開催

- ・大分県民体育大会予選等の部、広域交流促進大会の部に加え、新たに地区交流大会の部を計画。佐伯市スポーツ協会加盟団体が市内より参加地区を募り、大会を通して地域間の親睦・交流と市民スポーツの振興と健康増進の推進。

②SAIKI リレーマラソン大会の開催

- ・チームでタスキを繋ぐリレーマラソンを通じて、タスキだけでなく、家族・友達・職場・地域の仲間と「こころ」を繋げ、大会を通してスポーツの楽しさや喜びを体験。

(2) 体育施設の効率的・効果的な活用の促進

①体育施設の広域的な利用の促進

- ・市中心部と比較し、十分に利用されていない周辺部の体育施設を、各支部や地区のスポーツ大会・スポーツ少年団の各大会等を開催することで利用促進。

②佐伯市総合運動公園の有効活用

- ・指定管理者や文化・スポーツツーリズム推進課と連携し、各種大会や合宿・キャンプでの利用促進。

2 競技スポーツの向上と子どものスポーツ機会の充実

(1) 競技団体の育成と組織強化

①第73回大分県民体育大会の開催

- ・9月に久大ブロックを中心に開催される、県民体育大会にて昨年の成績総合5位を上回る、上位入賞を目指す。

②第63回県内一周大分合同駅伝競走大会の開催

- ・2月に開催される県内一周駅伝競走大会にて、A部キープ、上位入賞を目指す。(昨年は総合5位(B部優勝)でA部へと振り返り咲き。)

(2) 子どものスポーツ活動の支援

①サイキッズスポーツ体験教室の開催

- ・スポーツ少年団加入促進として、市内の小学2～3年生を対象に9種目、小学

4～6年生を対象に4種目の体験教室を開催。いろいろなスポーツや運動体験を通じて子どもたちの運動習慣化や体力、運動能力の向上促進。

②競技スポーツ強化事業（佐伯っ子競技力向上対策事業）の開催

- ・佐伯の子どもの中から未来のアスリートの誕生を目指すために、トップアスリートや著名な指導者によるスポーツ教室や講習会を開催。

【主な予算】

施策1 生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用

◆主要事業	予算額
○地域スポーツ育成補助金	6,595千円
○地区対抗駅伝競走大会	296千円
○SAIKI スポーツフェスティバル補助金	2,100千円
○リレーマラソン大会補助金	240千円

施策2 競技スポーツの向上と子どものスポーツ機会の充実

◆主要事業	予算額
○佐伯っ子体力アップ事業	973千円
○競技スポーツ強化事業	1,928千円
○県民体育大会	8,235千円
○県内一周駅伝大会	1,004千円
○スポーツ少年団補助金	830千円

Ⅶ 市民に開かれた教育行政の推進

教育総務課

【施策】

施策1 教育委員会及び事務局の機能充実

【令和2年度重点事業】

1 教育委員会及び事務局の機能充実

(1) 教育委員会の機能充実と公聴広報活動の充実

- ・教育委員会と学校現場等との意見交換を実施し、教育現場の実情把握や教育行政へのニーズを把握。
- ・市内公聴広報委員会を開催し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用した各課からの情報発信の充実。また市報に「教育だより」のページを年3回掲載。
- ・教育委員会表彰等を通じて、教育功労者を積極的に顕彰。

(2) 教育行政の執行体制の強化

- ・市長部局との連携を図り、第2次佐伯市総合計画を着実に推進。
- ・定期的に課長会議を開催するなど、教育委員会各課で連携。
- ・教育委員会事務局職員の研修の充実。
- ・重点施策の策定、事務事業の点検評価の実施及び結果公表。

【主な予算】

施策1 教育委員会及び事務局の機能充実

◆主要事業	予算額
○市報に「教育だより」のページを掲載	215 千円